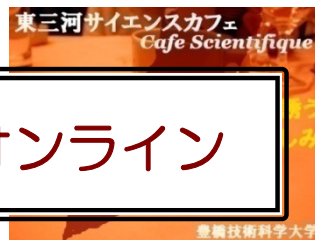


第252回東三河サイエンスカフェ 2020年9月17日(木) 午後6時30分～8時00分 豊橋駅前サテライトオフィス



東三河サイエンスカフェ 検索

<http://www.ita.cs.tut.ac.jp/~kawai/cs/>

サイエンスカフェは、講演会や体験講座とは違い、ゲストスピーカーやほかの参加者とのフランクな語らいを楽しむ場です。どうぞ、サイエンスについて語らう楽しみを満喫してください。

再帰 (Recursion) — 情報A-Z「R」の巻 —

コンピュータ・プログラムで、ある関数 (= 手続き = ひとつのプログラム) を定義するのに、

$$\begin{cases} a_1 = 1 \\ a_2 = 1 \\ a_{n+2} = a_{n+1} + a_n \quad (n > 0) \end{cases}$$

その関数 (= 手続き = ひとつのプログラム) 自身を使用する (呼び出す) ことを、再帰といいま

す。高校の数学で習った漸化式や数学的帰納法と同種のもので、再帰をうまく使うと、プログラムを簡潔に分かりやすく記述できます。

1, 1, 2, 3, 5, 8, 13, ... とつづく、
フィボナッチ数列の定義です。
例えば、5番目の数を求めようとすると、4番目と3番目の数を求めないといけません。これが再帰です。

今宵は、自分自身を呼び出すちょっと変わったプログラム、再帰についてサイエンスしてみましょ。

★ゲストスピーカー：
河合 和久 先生
豊橋技術科学大学
情報・智能工学系

★先生のご専門：
コンピュータ・サイエンス

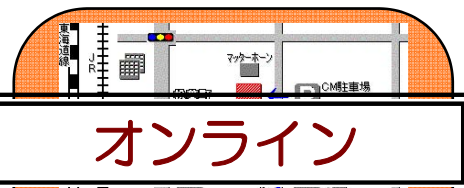
★先生からの一言：
辞書で動詞 recur をひくと、「同じことが何度も起きる」とあります。まさに、プログラムの基本のひとつ、繰返し (ループ) です。再帰は、ループの一種とも言うことができます。

★対象：高校生以上どなたでも。参加費無料。定員20名。定員に達し次第しめきります。事前に参加申込をしてください。

★申込：参加希望の方は、「第252回参加希望」と明記し「氏名」「年齢」「連絡先 (電話番号またはメールアドレス)」をお書きの上、下記のメールアドレスへお申込みください。

東三河サイエンスカフェ事務局
メール：cs@ita.cs.tut.ac.jp
申込×切：9月16日(水) 正午

★ご連絡いただいた個人情報は、申込受付等の連絡業務にのみ使用します。



★会場 (豊橋技術科学大学豊橋駅前サテライトオフィス)：豊橋駅から、広小路どおり、ときわアーケードを通り抜けた先の左側にあります。駅から徒歩5分。